

団体交渉前の話し合い

昨年末から 2 回にわたり、アンケートを実施してきました。教職員の皆様が組合活動に最も期待していることは、給与賞与面の待遇改善であることがわかりました。アンケートにご回答していただき、誠にありがとうございました。

アンケートの結果を踏まえ、2024 年 5 月 30 日、法人側と話し合う場を設けることができました。給与賞与面の待遇改善、最近の物価高、教職員の皆様の努力、教員数の少なさなどについて話し合い、窮状を訴えました。加えて、今年度の賞与支給率について、法人側にこの点を考慮してほしいこと、賞与支給率の改善が難しいなら、別の形でいいので、一時金をお願いできないかとも伝えました。

今年度団体交渉開催 夏季賞与 1.55 ヶ月、冬季賞与 1.8 ヶ月（夏季も冬季も昨年同等）

6 月 10 日、今年度の賞与について第 1 回団体交渉が開催された。法人側から学生数の推移や事業活動収支計算書などが示された。

教育活動収支差額については毎年赤字が続いており、2023 年も 2022 年もほぼ同等であった。また、経営収支差額はマイナスの方に膨らんでおり、財務状況がかなり厳しいとの説明があった。収容定員充足率は少し改善しているように見えるが（次ページ末の表「2017 年度からの賞与の推移」を参照）、これは入学定員数を減らしたことによるものであり、実際の在籍学生数は減少している（2023 年度：2350 名、2024 年度：2284 名）。よって、学生生徒等納付金は近年減少傾向にあり、これが教育活動収支差額の赤字の要因になっている。このような説明の後、法人側が提案した 2024 年度の賞与支給率は、「年間で 3.35 ヶ月分（昨年度と同等）。夏季 1.55 ヶ月、冬季 1.8 ヶ月。」であった。

財務状況が厳しいため、今年度の賞与支給率は昨年度より厳しくなると予想していたが、法人側の提案は昨年度と同等であった。もちろん、その場で妥結することはせず、後日、三役交渉を開催し、その場で回答することとした。

団体交渉の終わりには「赤字経営が続いているにもかかわらず、賞与支給率を下げることなく提案していただき、法人側には感謝しています。」と伝えた。

三役交渉 特別一時金一律 3 万円

6 月 17 日、三役交渉が開催された。組合としては、3.35 ヶ月の賞与支給率はあるが、前述の窮状のこともあり 10 万円の上乗せを要望するつもりであった。しかし、それを伝える前に法人側から提案があった。それは、法人側の限度として、「賞与支給率は 3.35 ヶ月、追加で特別一時金を一律で 3 万円」というものであった。

法人側は無い袖は振れぬということだったが、組合側からは 10 万円を要望するつもりであり、特別一時金についても 3 万ではなく少しでも多くお願いしたいと伝えたが、明確な回答は得られなかった。しかしながら、教職員の賞与を減らす考えは法人側には全くないこと、赤字が続いている中で特別一時金一律 3 万円の支給を検討していること、物価高の状況を鑑み正規雇用・非正規雇用に関わらず直接雇用者全員に支給することに対し、少なからず

組合側の意向が伝わったと考え、これで妥結することとした。特別一時金 3 万円を賞与と考えれば、0.06 ヲ月に該当するので、今年度は 3.41 ヲ月の賞与支給率に相当する（「2017 年度からの賞与の推移」を参照）。

組合活動に参加しませんか

このように教職員の意見を公式に法人側に伝えることができるのは、組合活動のメリットになります。法人側と組合が協力しあって本学をより良い就労環境にしていけることが大切になります。

個人で悩んでいても解決できないところが多々あります。それでは、モヤモヤがたまる一方です。もちろん組合に加入したからと言って、個人の問題が即座に解決するものでもありません。しかし、問題を共有し、組合員皆で考えれば個人の問題も解決する方向に向かいます。組合に加入し、毎日を快適に過ごしませんか。

入会したい場合、下記のメンバーに声掛けください。どうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせおよび組合入会連絡先

東・高橋達雄・尾形・木藤

北陸大学教職員組合ホームページ <http://www.hussu.jpn.org>

2017 年度からの賞与の推移（教員用^{※1}）

年度	夏季	特別一時金	冬季	合計	収容定員 充足率(%)
2017	1.5 ヲ月	—	1.7 ヲ月＋ 人事考課 0～20 万円	3.2 ヲ月＋ 人事考課 0～20 万円	68.2
2018	1.5 ヲ月	—	1.7 ヲ月＋一律 10 万円 ^{※2}	3.4 ヲ月	72.5
2019	1.6 ヲ月	—	1.8 ヲ月＋一律 10 万円	3.6 ヲ月	78.1
2020	1.6 ヲ月	—	1.8 ヲ月＋一律 10 万円	3.6 ヲ月	80.7
2021	1.6 ヲ月	—	1.7 ヲ月＋一律 10 万円	3.5 ヲ月	77.7
2022	1.55 ヲ月	—	1.7 ヲ月＋一律 10 万円	3.45 ヲ月	75.7
2023	1.55 ヲ月	—	1.6 ヲ月＋一律 10 万円	3.35 ヲ月	73.3
2024	1.55 ヲ月	一律 3 万円 ^{※2}	1.6 ヲ月＋一律 10 万円	3.41 ヲ月	76.3

^{※1} 職員は人事考課あり。

^{※2} 特別一時金 3 万円を賞与支給率に換算すると 0.06 ヲ月、一律 10 万円を賞与支給率に換算すると 0.2 ヲ月に相当する。